



緑区支え合いのまち推進計画



第5期緑区地域福祉計画 令和4(2022)～8(2026)年度

～田園と調和する広やかで快適なまち・緑区～

1 区の現状

(1) 少子・高齢化に関するデータ（区内人口の推移）

※各表のH27・R2・R5は9月末時点

平山エリア 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	1,062 (16%)	1,143 (16%)	1,214 (16%)	
15～64	3,828 (57%)	4,194 (58%)	4,513 (59%)	
65～74	937 (14%)	830 (11%)	723 (9%)	
75～	860 (13%)	1,087 (15%)	1,195 (16%)	
計	6,687	7,254	7,645	

※鎌取町、辺田町、平山町、東山科町

緑区全体 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	19,634 (15%)	18,311 (14%)	17,274 (13%)	
15～64	81,772 (64%)	82,046 (63%)	81,283 (63%)	
65～74	14,643 (12%)	15,156 (12%)	14,782 (11%)	
75～	10,788 (9%)	14,432 (11%)	16,521 (13%)	
計	126,837	129,945	129,860	

誉田エリア 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	2,601 (12%)	3,362 (14%)	3,753 (15%)	
15～64	13,117 (61%)	14,255 (59%)	14,638 (59%)	
65～74	3,187 (15%)	2,933 (12%)	2,677 (11%)	
75～	2,654 (12%)	3,460 (14%)	3,801 (15%)	
計	21,559	24,010	24,869	

※誉田町、大膳野町、高田町、平川町

おゆみ野エリア 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	9,395 (19%)	7,848 (16%)	6,778 (14%)	
15～64	33,447 (69%)	34,031 (70%)	33,499 (69%)	
65～74	3,335 (7%)	3,945 (8%)	4,301 (9%)	
75～	2,149 (4%)	3,050 (6%)	3,637 (8%)	
計	48,326	48,874	48,215	

※おゆみ野有吉、おゆみ野、
おゆみ野中央、おゆみ野南

※大金沢町、椎名崎町、小金沢町、
茂呂町、中西町、古市場町、落井町、
富岡町、刈田子町

椎名エリア 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	707 (15%)	721 (14%)	731 (14%)	
15～64	3,001 (62%)	3,102 (62%)	3,216 (62%)	
65～74	622 (13%)	588 (12%)	558 (11%)	
75～	494 (10%)	610 (12%)	673 (13%)	
計	4,824	5,021	5,178	

※土気町、小食土町、小山町、大椎町、
板倉町、大木戸町、大高町、大野台、
上大和田町、下大和田町、高津戸町、
越智町、あすみが丘、あすみが丘東



土気エリア 単位：人				
年齢	H27	R2	R5	
0～14	5,869 (13%)	5,237 (12%)	4,798 (11%)	
15～64	28,379 (62%)	26,464 (59%)	25,417 (58%)	
65～74	6,562 (14%)	6,860 (15%)	6,523 (15%)	
75～	4,631 (10%)	6,225 (14%)	7,215 (16%)	
計	45,441	44,786	43,953	

緑区全体

※R5を基準にH27からの推移を記載しています。(以下同じ)

- 【特 色】大規模開発が行われた新しい地域と歴史と緑の潤いに育まれた地域が共存する若々しい区。
- 【総人口】約130,000人で、総人口は約3,000人増加。
- 【少子化】15歳未満は約17,500人(約13%)で、約2,000人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約31,000人(約24%)で、約6,000人増加。75歳以上の増加が顕著。

誉田エリア

- 【特 色】産業用地の開発に伴い住宅地の開発が進行。農村地域が広く田畑に囲まれた集落が点在。
- 【総人口】約25,000人で、区内で3番目の人口。総人口は約3,100人増加。
- 【少子化】15歳未満は約3,700人(約15%)で、約1,100人増加。
- 【高齢化】65歳以上は約6,500人(約26%)で、約600人増加。75歳以上の増加が顕著。

椎名エリア

- 【特 色】自然豊かな農村地域で、地域には区画された田園が広がり、集合住宅地はあまりない。
- 【総人口】約5,000人で、区内で最も人口が少ない。総人口は約350人増加。
- 【少子化】15歳未満は約700人(約14%)で、ほとんど変動なし。
- 【高齢化】65歳以上は約1,200人(約24%)で、約100人増加しており、主に75歳以上が増加。

土気エリア

- 【特 色】緑豊かな地域、あすみが丘・地域開発の住宅地、工業団地や農村地域が広がる。都市公園が整備。
- 【総人口】約44,000人で、区内で2番目の人口。総人口は約1,500人減少。
- 【少子化】15歳未満は約5,000人(約11%)で、約1,000人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約13,500人(約31%)で、約2,500人増加。75歳以上の増加が顕著。

おゆみ野エリア

- 【特 色】鎌取駅を中心に商業地区と戸建て中心とした閑静な住宅地域。緑区行政の中心地。
- 【総人口】約48,000人で、区内で最も人口が多い。総人口はほとんど変動なし。
- 【少子化】15歳未満は約7,000人(約14%)で、約2,500人減少。
- 【高齢化】65歳以上は約8,000人(約17%)で、約2,500人増加。他と比べると高齢化割合は低い。

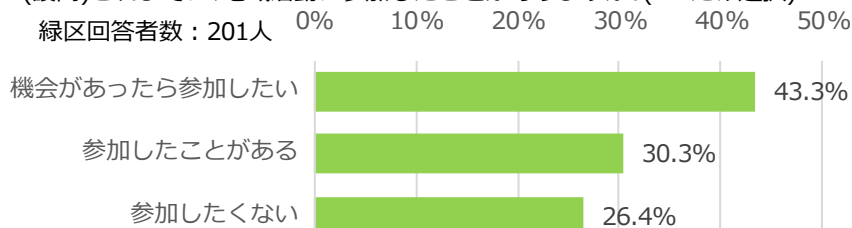
平山エリア

- 【特 色】古くからの里山が広がる地域。近年では大網街道沿いで住宅地の開発が進む。
- 【総人口】約7,600人で、区内で2番目に人口が少ない。総人口は約1,000人増加。
- 【少子化】15歳未満は約1,200人(約16%)で、約150人増加。
- 【高齢化】65歳以上は約1,900人(約25%)で、約120人増加しており、主に75歳以上が増加。

(2) 区民意識に関するデータ

令和5年度千葉市WEBアンケート(4/1～4/10に市ホームページ上で実施)
(設問)これまでに、地域活動に参加したことがありますか。(1つだけ選択)

緑区回答者数：201人



福祉活動は住民の共助によって向上するものです。参加したいという住民の意識は高いものの、参加したくないが約26%あることは大きな課題です。今後進展する高齢化社会においては、共助の意識が大切になります。ボランティアによる地域活動の場をいかに高めるかが課題です。

※千葉市WEBアンケートは、毎月1日午前10時から10日午後5時まで、市ホームページをとおして、市内在住・在勤・在学の方を対象にアンケート調査を実施することにより、短期間で市民意見等を把握し、施策等の検討に役立てる制度です。

(3) 地域団体等の状況

地域には、地区部会、町内自治会、民生委員・児童委員、避難所運営委員会、地域運営委員会、老人クラブ、赤十字奉仕団、学校PTA等の様々な団体があります。地域福祉活動を推進するには、これらの団体が、各地域の状況に応じ、連携、協力することが重要です。また、あんしんケアセンターでは地域の高齢者に関する様々な相談に応じており、地域課題を解決するには、あんしんケアセンターを中心に各団体の連携が求められます。

※R5年9月末時点

主な地域団体等	緑区全体	誉田エリア	椎名エリア	土気エリア	おゆみ野エリア	平山エリア
地区部会数 (名称)	5	1 (誉田地区部会)	1 (椎名地区部会)	1 (土気地区部会)	1 (おゆみ野地区部会)	1 (平山地区部会)
町内自治会数 (連絡協議会地区)	163	26 (第12地区)	18 (第14地区)	46 (第23地区)	63 (第44地区)	10 (第50地区)
民生委員・児童委員定数 (協議会地区)	170	35 (506/507地区)	12 (503地区)	61 (504/505/509/510地区)	52 (502/508/511地区)	10 (501地区)
避難所運営委員会数 (指定避難所数)	30 (34)	3 (4)	3 (3)	13 (15)	10 (11)	1 (1)
地域運営委員会数	1	1	0	0	0	0
あんしんケアセンター (担当センター)	3	1 (誉田)	1 (鎌取※1)	1 (土気)	1 (鎌取※1)	1 (鎌取※1)

※1あんしんケアセンター鎌取は、椎名エリア・おゆみ野エリア・平山エリアを担当

(4) 地区部会活動状況

地区部会では、高齢者、障害者、子育て世帯等、住民の方が健康で、日々充実した生活を送り、生きがいと、楽しさと、喜びを持てるような活動を推進しています。各地区の人口、地域性、住民の意識等によって活動回数に差が生じています。なお、新型コロナウイルスの影響で地域活動が制限され、活動回数が減少していましたが、徐々に回数が増加しています。

※単位：回（括弧は団体数）

主な活動	緑区全体			誉田			椎名			土気			おゆみ野			平山		
活動内容	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
ふれあい・※1	150	227	337	35	35	60	0	0	0	94	153	207	21	39	70	—	—	0
いきいきサロン	(41)	(41)	(43)	(11)	(10)	(7)	(3)	(3)	(3)	(19)	(19)	(21)	(8)	(9)	(10)	—	—	(2)
ふれあい・※2	1	21	52	0	5	8	—	—	—	1	16	24	0	0	10	—	—	10
子育てサロン	(6)	(8)	(8)	(1)	(3)	(2)	—	—	—	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	—	—	(1)
ふれあい・※3	45	63	69	—	—	—	—	—	—	44	63	65	1	0	4	—	—	—
散歩クラブ	(6)	(6)	(6)	—	—	—	—	—	—	(5)	(5)	(5)	(1)	(1)	(1)	—	—	—
ふれあい ※4	0	0	8	0	0	8	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
食事サービス	(4)	(4)	(4)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	—	—	—	—	—	—

※1 公共の施設や町内自治会館等を会場に、語らいの場やレクリエーションの機会を提供し、介護予防・閉じこもりの防止・地域交流や仲間づくりを進める活動。

※2 公共の施設や町内自治会館等を会場に、子育て中の親子が気軽に参加し、自由に遊んだり、おしゃべりや、情報交換をして、子育てを楽しみながら仲間づくりを進める活動。

※3 地域の高齢者・障害者等の地域住民が散歩を中心とし、ふれあうことで自宅に閉じこもりの状況を防ぎ、心身の健康保持や介護予防・高齢者の仲間づくりを進める活動。

※4 ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象に会食会や食事の配達を通じて、温かな食事、食生活改善と心のふれあいを目的に実施。

2 区の課題

①コミュニケーションの機会の増加について

各地域の状況に応じ、感染症予防に配慮した活動内容及び方法の検討。

②災害等の緊急時の対応について

災害等の緊急時に備え、平時から各地域の状況に応じた各団体の連携体制の整備。

③地域活動や担い手について

高齢者を含む地域住民の地域活動への参加促進及び各団体の連携。

3 基本目標

「地域住民のきずなを深め、みんなが手を結び合い、
住みよいまちづくりを推進する」

～未来を築く子どもたちのために～

～明るい社会を築いてきた高齢者のために～

～障害者（児）が希望を持って地域に生き、働けるために～

この基本目標は、緑区の目指すべき将来像で、第1期計画から引き継いでいます。
地域住民が「きずな」の大切さを再認識し、手を取り合って心の通うあたたかな地域づくりを目指します。

4 3つの基本方針

基本目標を達成するため、第1期計画より継続してきた基本方針を踏襲しつつ、各地域の状況や社会情勢等を踏まえて定めたものです。

《基本方針1》 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）

「向こう三軒両隣」・地域に暮らす全ての人が、つながりを大切にします。

《基本方針2》 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）

「安心・安全・安住」安らぎの生活を・みんなで支援し、みんなで守ります。

《基本方針3》 身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護・ボランティア）

「困ったときは、声かけて」・みんなで考え、みんなで解決します。

《基本方針1》コミュニケーション・（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）

施策の方向性 (取組名)	具体的な取組み (実施内容＝解決策)	
1 情報の収集と共有化	住民が、地域でどのような交流、ふれあいの機会、行事を要望しているかを把握します。自治会の回覧や地区部会の広報紙を利用し、情報をみんなで共有できるように努めます。	
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	子ども達の学習を地域で見守り、アフタースクールや公民館・図書館等での学び・体験学習を支援するほか、児童・生徒が福祉に対する理解を深められるよう、福祉教育に協力します。 また、子ども食堂等により、経済的に困窮している子どもの支援等を行います。	
	重点取組地区	◎椎名地区 ◎おゆみ野地区

3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	ふれあい・いきいきサロンや散歩クラブ等、高齢者が集う場の設置を推進します。高齢者の状況を把握し、必要としている情報について関係機関（あんしんケアセンターやいきいきプラザ等）に紹介します。	
	重点取組地区	◎ 誉田地区 ◎ 平山地区
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	障害者（児）・その家族の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介します。 また、障害者（児）を介護する家族が交流できる場や地域住民と交流する機会を設け、その家族を支援する体制づくりに努めます。	
	重点取組地区	◎ 誉田地区
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	発育、発達、しつけなど子育てへの不安や悩みなどを抱える親に対して、保健福祉センター等と協力し、相談会・講習会などを開催するよう努めます。 子育て中の親や子どもが集い、仲間づくりができる場（ふれあい・子育てサロン等）を拡充します。	
	重点取組地区	◎ おゆみ野地区 ◎ 平山地区
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	地域住民が一体となり、地域の行事に参加することにより、地域の活性化、区全体のコミュニケーションを高めます。 また、ふるさとの伝統行事を通じて、地域文化の担い手としての意識を醸成します。	
	重点取組地区	◎ 椎名地区
7 子ども会の活性化	住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、子ども会の活動に積極的に参画し、活動内容を充実させ、新規加入を促進していきます。	
8 老人クラブの活性化	高齢者が仲間づくりの輪を広げ、生きがいをもって生活していけるよう、サークル活動等の充実にも努め、老人クラブの活性化を図ります。 また、子ども会と連携し、お互いの交流を図ります。	
9 町内自治会の活性化	町内自治会への参加を促進し、住民の地域福祉活動への関心を高めます。	
10 地域活動の場の確保	地域で行う様々な活動の場として、既存施設の空きスペース（空き家）等の有効活用にも努め、必要に応じ公共施設の提供を市に要望します。	
11 生活環境の整備	高齢者や障害者の生活環境の整備の観点から、道路表面の案内表示のサイズや色の統一について、道路関係部署等に要望します。	

「基本方針2」緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）

施策の方向性 (取組名)	具体的な取組み (実施内容＝解決策)	
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	・ 家庭において、避難場所の確認や防災用品の準備等を行うよう、意識啓発に努めます。 ・ 地域における防災訓練の充実を図り、地域での意識啓発や避難誘導體制・情報伝達体制の整備、避難行動要支援者名簿の活用、地域諸団体の連携強化に努めます。 ・ 町内自治会集会所、防災組織の集会所等の施設を活用した連絡拠点の整備、防災備品の充実等に努めます。	
	重点取組地区	◎ 土気地区 ◎ おゆみ野地区

1 3 災害時ボランティア活動の充実	災害時に活動に従事するボランティアについて、日頃からボランティア団体の講習等に参加しネットワークを広げるなど連携に努めます。 また、災害後ストレスに対応できる傾聴ボランティアの養成に努めます。
1 4 身近な防犯、安全対策	防犯パトロールを組織し、地域単位に自主防犯活動を展開します。 また、パトロール中に防犯チラシを配布し注意喚起に努めます。 町内、商店等に防犯ポスターやステッカーを掲示し、防犯意識の向上と犯罪抑止を図ります。さらに、空家のチェックリストを作成し、点検します。

《基本方針3》身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護・ボランティア）

施策の方向性 (取組名)	具体的な取組み (実施内容＝解決策)
1 5 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	日常生活の困りごとや外出困難者を支援するため、既存の社会資源（移送サービス・移動販売等）について情報提供するほか、必要な体制づくりに努めます。
1 6 見守り活動の推進	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声かけ等を行います。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活の中で無理なく行える見守り活動を実施します。
	重点取組地区 ◎土気地区
1 7 健康づくり支援	健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の集会やイベントの機会を利用して実施します。 ラジオ体操、シニアリーダー体操、健康ウォーキング等へ積極的に参加するしくみ作りを推進し実施します。
	重点取組地区 ◎椎名地区 ◎土気地区 ◎おゆみ野地区
1 8 地域の課題解決に向けた連携	地域の関係諸団体・機関が連携し、課題解決に向けて話し合う場として、地域ケア会議等を開催します。
	重点取組地区 ◎椎名地区 ◎土気地区
1 9 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	高齢者を介護する家族の日常生活を支援（介護保険適用外）する体制づくりに努めます。 認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」を増やします。 児童・生徒への認知症にたいしての理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を開催します。
2 0 ボランティアの確保	地域住民の協力による、身近な生活支援 を確立するためのボランティア確保に努めます。 子ども会・地域の小中学生を対象として、子ども達もすすんでボランティア活動に参加できるよう推進します。 元気な高齢者がボランティア活動を行える場の提供及び情報の発信に努めます。



緑保健福祉センター高齢障害支援課

〒266-8550 千葉市緑区鎌取町226-1

TEL 043-292-8138 FAX 043-292-8276

Email koreishogai.MID@city.chiba.lg.jp



保健福祉局健康福祉部地域福祉課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

TEL 043-245-5158 FAX043-245-5620

Email chiiki.HWH@city.chiba.lg.jp